

令和4年度第2回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招 集 日	令和4年7月28日(木)	
開催場所	蓮田市役所 201会議室	
開催日時	開会 令和4年7月28日(木)午後 2時00分 閉会 令和4年7月28日(木)午後 3時20分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席・欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席・欠席
	委 員 荒 木 和 之	出席・欠席
	委 員 関 根 香 織	出席・欠席
	委 員 野 田 恵美子	出席・欠席
	委 員 渋谷 昭 子	出席・欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席・欠席
	委 員 寺 澤 亜希子	出席・欠席
	委 員 石 川 勉	出席・欠席
	委 員 平 林 光子	出席・欠席
出席職員 (策定委員、 事務局)	【蓮田市総合振興計画策定委員】 市 長 山口 京子 教 育 長 西山 通夫 総合政策部長 山口 亨 総務部長 新井 宏典 環境経済部長 高崎 達也 健康福祉部長 長谷部 幸一 都市整備部長 増田 吉郎 蓮田駅西口行政センター長 飛田 康裕 上下水道部長 小山 猛 会計管理者 山田 則子 消 防 長 新井 智 学校教育部長 槍田 光東 生涯学習部長 小宮 雪晴 議会事務局長 栗原 栄 監査委員事務局長 原 淳司 総務部参事兼秘書課長 高崎 裕美 環境経済部参事兼農政課長 高橋 司 都市整備部参事兼都市計画課長 金子 克明 生涯学習部参事兼社会教育課長 横田 修子	【事務局】 総合政策部調整幹 初野 尚久 政策調整課長 塚本 孝 政策調整課副主幹 齋藤 欣志 政策調整課主事 柏木 渉
傍 聴 者	1名	

<p>1 開会</p> <p>・ 会長挨拶</p> <p>・ 市長挨拶</p>	<p>開会宣言</p> <p>(中山会長)</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日はお暑い所、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日もしっかりと審議を進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。</p> <p>(山口市長)</p> <p>皆様、こんにちは。本日は令和4年度第2回蓮田市総合振興計画審議会へ、お暑い中、そしてまた、皆様方お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>審議会委員の皆様には計画の進行管理について毎年貴重なご意見を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>現在実施している第5次総合振興計画は各種事業が着実に進んでおります。</p> <p>馬込下蓮田土地区画整理事業と黒浜土地区画整理事業の2つの土地区画整理事業が完了し、特別会計も閉鎖いたしました。また、蓮田駅西口再開発事業も完了いたしまして、現在皆様にご案内のように、西口行政センターを開設しております。</p> <p>これら3つの特別会計は昭和の時代から長年持ち越していたため、これらの特別会計が終わったということは、本当に中野前市長のおかげであると感謝しております。これら3つの特別会計が終わったことで、蓮田市が少し軽くなったという気持ちもいたしますが、もちろんまだまだ蓮田市としては前を向いて発展していく必要があります。</p> <p>そのためには、工業団地の整備やその他の開発等々にも着手していく必要があるため、結局、いつまで経ってもずっと前を向いて走らなくてはならないというのが、皆が生きて暮らしているこの行政を預かる私たちの仕事だと思っております。</p> <p>第5次総合振興計画は10年の計画期間で策定しておりますが、本年はちょうど5年目の中間でございます。進行管理に加えまして、計画の中間見直しもお願いしているところであります。</p> <p>総合振興計画は私が申すまでもなく、この蓮田市の将来を左右する最上位計画でございます。どうぞ皆様方この審議会がいかにかに重要だということで、忌憚のない活発なご意見ご質問をいただきまして、実のある計画にして参りたいと思っております。</p> <p>そして私達行政、それから市民一同、その計画、目標に向かって邁進していきたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくをお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。</p>
---	--

申し遅れましたが、この度5月に蓮田市長になりまして、初めてこの総合振興計画審議会に出席いたします。山口京子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

(調整幹)

それでは、次第に沿いまして、会議を進めさせていただきます。次第の2「議題」でございます。

蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項には、「会長は、会議を総理し、」と規定されておりますので、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしく申し上げます。

・定足数の確認

(議長)

議長の役を承りましたので、これより先、本日の議事を進行させていただきます。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、2点確認事項がございます。

1点目は会議の成立について、2点目は傍聴者の有無についてです。まず、会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。

(調整幹)

会議の成立についてご報告申し上げます。蓮田市総合振興計画審議会条例第6条第2項に基づき、本日は、委員10名全員の方のご出席をいただいておりますため、会議開催のための定足数に達しており、本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

・傍聴者の確認

(議長)

続いて、2点目の確認事項です。

傍聴者の有無について事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

ご報告申し上げます。

本日の審議会について、傍聴を希望する方がいらっしゃいます。

本審議会は、「蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、原則公開での審議となっております。

ただし、取り扱う案件が蓮田市情報公開条例第7条各号に定める不開示情報に該当するとき、又は公開することにより会議の目的が達成できないおそれがあるときは非公開とすることができます。

(議長)

ただいま、事務局より、傍聴者がいる旨の報告と、原則公開での審議となる旨の説明がありました。

今回、非公開にすべきと考えられる案件はないと考えておりますが、委員の皆様はいかがでしょう。

《異議無しの声》

それでは、ご異議がございませんでしたので、本日の会議は公開いたします。事務局は傍聴者を入場させ、注意事項の説明をお願いします。

《傍聴者入場、資料配付、傍聴上の注意の説明》

(議長)

ありがとうございました。
会議を進めます。

・蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について

(議長)

議題の1つ目、「蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料2について説明》

(議長)

ありがとうございました。「a 達成」が数多くあり、素晴らしいと思いましたが、委員の皆様方はご覧になっていかがでしょうか。ご意見、ご質問などございませんでしょうか。

(奥沢副会長)

只今ご説明いただいた事業はどれも皆重要な事業であり、成果も上がっている事業で、後程、市民アンケートの説明もありますが、市民の満足度の向上に寄与してくる事業だと思います。

資料2の74ページ主要事業No. 122は基本政策2「健康で安心して暮らせるまちをつくる」の中に位置づけられた主要事業ですが、事業名が「新型インフルエンザ等対策の整備」で、内容をみると「病原性が高く、まん延性のおそれのある感染症（現状では新型コロナウイルス感染症）」となっております。

ご案内のように第5次総合振興計画の策定時には、新型コロナウイルス感染症は存在していませんでした。その後、新型コロナウイルス感染症が蔓延してきたわけですが、この第5次総合振興計画の政策の体系の中では、主要事業No. 122に位置付けて進行管理を実施してきたという認識でよろしいでしょうか。

また、令和3年度決算額の676,862(千円)は令和3年度に実施されたコロナ対策費であると理解してよろしいでしょうか。これは全て国費でしょうか。

(健康福祉部長)

「主要事業No. 122に位置付けられている内容は計画当初には新型コロナウイルス感染症は存在していなかったが、それに対応する事業であるか」というお尋ねかと思えます。

まさにおっしゃる通りでございます。事業といたしましては、ワクチン接種を行っている部分がほとんどでございます。決算額の全額がコロナ対策に関連する体制整備事業及び、接種を直接行う事業に関するもので、ほぼ全額を国費で対応しているところでございます。資料2の74ページの令和3年度決算額というものが、その金額でございます。

(関根委員)

資料2の66ページ主要事業No. 108「警察署の誘致」について伺います。各主要事業の達成度について「a 達成」や、「b 一部達成」が多い中で、主要事業No. 108は「c 未達成」だったので、あえて質問させていただきたいと思えます。

山口市長も県議会の時に警察署の蓮田市への誘致を質問されていたと記憶しているので、思いは同じであると考えているのですが、資料の中のDO（R3年度中に実施したこと）やACTION（成果指標を達成するために今後実施すること）では、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、今後、埼玉県警察と連携して情報収集など行っていくとしていますが、この未達成の部分をあと残り5年間で、どのように実現に向けて動いていくかについて、何か具体的なプラン等があれば、もう少し踏み込んで教えていただきたいです。

(総合政策部長)

ご質問の件ですが、令和3年度の実績としては、埼玉県警の方と事前に調整をした上で面談を行い、蓮田市の要望をお伝えするとともに、蓮田市の現状や埼玉県の現状についての情報交換を行う予定でしたが、結果として2度延期となりまして、年度内の面談ができませんでした。

今年度になりまして、4月7日に埼玉県警警察本部の方とお話をさせていただいて、埼玉県の警察署の現状、それから蓮田市における警察署の誘致について、お話をさせていただきました。

面談の結果、埼玉県警としては、人口が減少している日本の中で、警察官の数を増やすことが非常に難しくなっている状況があり、その中で警察署を新に設置することは非常に困難であり、特に蓮田市については、あくまで、犯罪が少なく、人口も若干減少しているといったところがあ

りまして、警察署の立地の必要性からすると少々難しいという話でございました。

埼玉県の実況の考え方としては、人口が増えており、かつ犯罪が増加している川口市に新たに設置することを考えているというお話はいただきました。

今後については、新規設置は難しいが、将来警察署の統廃合等の際に、改めて複数の警察を統合する中で、立地が適正な場所に再配置するという考え方は可能性としてはあり得ます。蓮田市としては交番しかないものですから、ぜひこれからも情報交換させていただきたいというところで話が終わった状況でございます。

引き続き情報交換を進めていきたいと考えております。

(関根委員)

ありがとうございます。承知いたしました。

(中山会長)

蓮田市は犯罪が非常に少ない安全なまちということで、何かしら犯罪抑止の効果が出ているとおっしゃると、警察署の誘致は難しいところなのではないでしょうか。

(平林委員)

89ページの主要事業No. 148「スポーツ施設整備事業」の「内容（R3年度）」の、「黒浜公園周辺や総合市民体育館周辺の再整備をはじめ、」というところですが、評価としては蓮田市市民体育館サブアリーナの方では計画を策定したことで「a 達成」となっております。

ただ、黒浜公園周辺の方ですが、146ページの主要事業No. 225「東埼玉病院周辺の活用の検討」を見ますと、東埼玉病院周辺の整備、国有地を購入待ちということで、国有地は払い下げをしていただく交渉をされているかと思いますが、その評価だけ「d その他」となっており、現在、進捗状態が全くわかりません。

黒浜公園の周辺に総合運動公園を作ろうという基本計画があったと思いますが、一住民としてはとても期待しているところです。なかなか実現には至っていないようですが、今どの辺まで話が進んでいるかをお伺いしたいと思います。

(環境経済部長)

黒浜公園周辺の再整備、スポーツ環境の整備につきましては、具体的な検討には至っていないところです。総合振興計画における「黒浜公園周辺の再整備をはじめ、屋外体育施設の新設・整備の調査検討」の中で考えていく必要があると捉えています。

146ページの主要事業No. 225について、みどり環境課におきましては、バス路線の延伸について記載させていただいております。

県道蓮田杉戸線から蓮田特別支援学校横までを結ぶ、市道1472号線が8月1日に供用開始となります。また、平成28年には蓮田松韻高校からバス路線の延伸等を含む要望書が提出されています。

これらを受けまして、黒浜公園の中、高校の正門付近にバス転回場を整備する計画を位置付けておりますが、整備には相応の時間を要することから、暫定的に病院の管理地に転回場を整備する計画を進めているところです。

黒浜公園周辺の再整備、スポーツ環境の整備推進につきましては、総合振興計画に位置付けておりますが、具体的な検討には至っていないところでございます。

(平林委員)

出来れば、もっと前へ進めるような方向でお願いします。

(総合政策部長)

進捗状況ですが、財務省が管理されている土地については、毎年度、財務省と話し合いをさせていただいて、蓮田市としては取得する意向があるというお話を常にさせていただいております。

土地を取得後、すぐに公園ができるわけではなく、段取りがございまずので、現在、環境経済部長からも申し上げました道路の整備をする中でバスを通しつつ、その後、次の段階で公園の整備という流れになろうかと思っておりますので、その所に関しては、都市整備部長の方から補足いただければと思っております。

(都市整備部長)

新たな道路である市道1472号線は県道の蓮田杉戸線から東埼玉病院の正面入り口を通り、東埼玉病院の敷地の中を通過し、蓮田松韻高校のグラウンドの南側に至ります。さらに、南側のグラウンドのところと蓮田特別支援学校の道路に接続されまして、蓮田松韻高校まで抜けていくという道路でございまして、病院の敷地の中については幅員12メートル、両側歩道の道路整備が完了いたしましたので、この8月1日に供用開始し、通れるようになります。

ただ、県道の入り口から病院の正面までと、高校と特別支援学校の間については、既存の道路を使いながらの供用開始でございまずので、当面の間は、乗用車は十分通れますが、やや狭い部分があり、大型車同士の行き交いが一部難しいところもありますので、バス路線については、その手前までというような考えで、市の方は動いているという状況でございまず。

(議長)

現在、下準備を今積んでいる段階でしょうか。道路を通して、次のスポーツ施設の整備へという段取りなのではないでしょうかね。

(山口市長)

平林委員のお気持ちはよくわかります。とにかく運動公園の整備・スポーツ施設の整備を進めていただきたいということだと、私は思っております。

特にこの黒浜公園は今もありますが、ここには皆が夢を持っており、野球をしている方は観客席がある野球場が欲しい、テニスがお上手な方は、良いテニスコートが欲しいというように色々な方の夢が詰まっています。

今、行政はスポーツ施設の整備についての進捗はございませんが、スポーツ施設の整備に向けて、少しずつ取り組んでおりますということを一生涯懸命言っているわけです。

ただ本当に先ほど、山口部長がお伝えしたように、土地がかなり高額になることもあり、土地の取得には、財務省と相当なやり取りをしなくてはいけないと思います。

そのためには、私もこの職を預らせていただいているのですが、国や県は計画などを非常に大事にするため、一つ一つ今私たちが事業を積み重ねていながら、スポーツ施設の整備に少しでも進みたいとしておりますが、これも総合振興計画に則っておりますので、必ず進めて行きたいと思っております。

これが第5次総合振興計画期間中である、あとの5年の間に実現するということはお約束できないのですが、平林委員がおっしゃっているような、黒浜周辺を一体的なスポーツ、それから高校や特別支援学校、病院も立地しているため、それらを一体的に、ゆったりと住める蓮田市としての顔になるよう努力してまいりたいと思っております。

実現は遠くに見えますが、今ここで前段階の事業を進めています。よろしく願いいたします。

(議長)

ありがとうございます。かなりビックプロジェクトだということ、そんなに早くはできないということですね。わかりました。ありがとうございます。

(田口委員)

前置きとして、資料2の97ページ主要事業No.159「新サービスエリア活用事業」のところで、新サービスエリア内にあるテナントの青果店

で地場産農産物を継続的な納入に、農商工連携推進協議会として関わらせていただいております、こちらに関しましては後押しいただきましたこと誠にありがとうございました。

売上に関しましては、なかなかよく売れております、一時期はコロナで高速道路のサービスエリア自体の利用者が減ったこともあり、若干下がったところもございますが、持ち直しまして、好調に売上を上げているところでございます。

本当に好評でした関係で、下りの方でも、上りのように地場のお野菜をおいてほしいということで、実は下りの方でも、この6月から売り始めたということがございます。

新サービスエリア内での地場産農産物の販売を後押しいただきました行政の皆様のおかげと考えております。ありがとうございました。

そこに関連して、あちらこちらで、蓮田市産の地場の新鮮なお野菜をおいてほしいという話や声が聞こえてくるようになりました。

そんな中で、本題ですけれども、101ページの主要事業No. 165「道の駅「はすだ」推進事業」というところで、農商工連携推進協議会としても、道の駅の話があがることが度々ございまして、やはり市内の方に新鮮なお野菜をお届けするという意味でも大変有望な計画なのではないかと考えており、期待している所もございます。なかなか難しいとは思いますが、こちらについて何か進展や計画等はございますか。

(環境経済部長)

「道の駅「はすだ」推進事業」でございしますが、市では、農政課、商工課、道路課の3課が担当しており、情報の共有やフォーラムに参加するなどしておりますが、具体的な調整には至っていないところです。

道の駅は、国土交通省の所管となっており、駐車場やトイレなどの休憩機能、道路情報や観光情報を発信する情報提供機能、文化・教養施設や観光レクリエーション施設で地域と交流を図る地域連携機能を備えていることが必要となるものです。

道の駅でございしますが、全国には、令和4年2月9日時点で1194駅が登録されております。

事業の検討をするにあたり、8月2日に茨城県の古河市にございまして、「道の駅まぐらがの里こが」の視察に伺う予定です。この際には、施設を視察するだけでなく、現地の担当職員からお話を伺ってまいりたいと考えております。

道の駅の検討に当たりましては、候補となる場所の選定をはじめといたしまして、施設を整備するための財源、継続的に維持管理できる規模の検討など、様々な課題があると認識しております。

この度の「道の駅まぐらがの里こが」の視察をはじめといたしまして、今後におきましても、継続して調査・研究に努めてまいります。

(都市整備部長)

道の駅につきまして、補足説明させていただきます。

都市計画マスタープランの中では、根金から閩戸の国道122号沿線が、道の駅の検討エリアでございます。

やはり道の駅がある程度の規模ということになると広い敷地が必要でございます。併せまして、総合振興計画の中でも都市計画マスタープランと同じエリアを検討エリアということにしてございまして、今後検討させていただくということです。

(田口委員)

ありがとうございます。ぜひ期待をかけている所もありますので、どうぞよろしく願いいたします。

(議長)

なかなか土地の確保が大変ですよ。ありがとうございます。

(寺澤委員)

今までの商業的な意味とは全然違うのですが、資料2の137ページの主要事業No. 214「人材育成推進事業」で、職員の方のメンタルヘルスについて実施いたしましたと書いてあるので、非常に良かったと母親的立場から思いました。

というのは、人材はとても大切ですから、いかにメンタルへのストレスなく働いてもらえるかという所は非常に大事で、一度悪くなってしまうと手遅れであるため、やはりそこに行くまでに、だれかが気づき、フォローしてあげるという作業がすごく必要ですので、こういった環境づくりができて本当に良かったと思います。

あと、それに伴いまして、おそらく市役所の職員の方に直に意見等を伝えにこられる市民の方は、主に窓口対応されている職員の方へ伝えにこられると思うのですが、窓口等へいらっしゃる市民の方々はほんの一握り、意見や要望を言える市民の方は一握りだと思います。言えなかった市民の人達の中には、思いを伝えることができる市民と同じような思いをしている方もいらっしゃると思います。

このような方々の意見をどのように吸い上げるか、この市の中の事業もそうなのですが、市民の皆様がどのように使いたいと考えているのか、どのような願いがあるのか、というような要望を、煩雑にはなってしまうのですが、行政の側だけで考えるのではなく、市民の皆さまの意見を取り上げながら事業の計画を進めていただきたいのですが、その意見の吸い上げというのは、どのように考えておりますでしょうか。

(総合政策部長)

メンタルヘルスというのは、職員対象のものが実績の方には載せさせていただいているのですが、確かにご指摘の通り、市民の声が市役所に届くときには様々なプロセス、本当であれば苦情という前に、気づきがあったり、ほんとはこうしてほしいけどなかなか言えない、といういくつかの過程を経て、どうしても言わなくてはならないと思ひ、声を上げていただくという形があるかと思ひます。

行政はどちらかというところ、声を聞いてから動くという仕組みが多い所がございますので、その前の段階にこちらから聞くということ、もしくは定期的にこちらからお声がけをして、何らかの、市民の方の考え、こういった要望があるというものをすくい上げること、そういったものができること、今の行政には欠けている部分だと思うのですが、そのような仕組みについては、今後色々と研究させていただければと思ひます。

また、そういった声を代弁いただく形として、蓮田市議会の各議員の皆様から市民の声をすくい上げていただいて行政にもお届けいただいておりますので、今後もそういった関係も大切にしていきたいと思ひます。

(議長)

ホームページやブログなども拝見しておりますが、結構、議員の方々が頑張ってお声を吸い上げていると感じております。

では、他にご質問等がなければ議題1についての審議は以上で終了いたします。

・蓮田市第5次総合振興計画の見直しについて
(諮問)

(議長)

次に、山口市長から当審議会に対しまして、蓮田市第5次総合振興計画の見直しについての諮問がございます。

(山口市長)

それでは、これから中山会長に諮問書をお渡しさせていただきます。

《諮問書朗読》

(議長)

ただ今、市長より諮問書をいただきましたので、皆様にご報告申し上げます。

それでは、「蓮田市第5次総合振興計画の見直しについて」並びに「市民意識調査報告書」事務局からの説明を求めます。

《事務局から蓮田市第5次総合振興計画の見直しについて及び、蓮田市市民意識調査報告書について説明》

(議長)

ただいま事務局から説明がありました、蓮田市第5次総合振興計画の見直しについて、ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。

(野田委員)

意識調査の方と少し関係ないかもしれませんが、私が関わっている活動の一つで小さいお子さんを連れた親子さんが来るような場所にいるからだと思いますが、最近市外から越してきましたという人がとても多く、とても嬉しいことだと思っております。

私が「蓮田にどうして越してきたの」と聞くと、皆さま「別に」と答えます。蓮田市の何が良いのかわからないとのこと。おそらく、前住んでいた所より安かったからとか、電車のアクセスが良いとか、そのような理由でしょうが、「何が良いかわからない」ということが全てかなって、私もずっと何十年も住んでおりますが、思っています。

意識調査の中でも何となく差が無い、不満がある項目と満足している項目の差があまりないですね。そこが、「そこそこまあまあ良いまち」なのかなと、とても私は感じました。

先程聞き忘れてしまったのですが、主要事業 No. 224「民間企業等連携事業」では、メットライフドームにて蓮田市のPRを行ったとのことですが、蓮田市のPRは、なにをしたのでしょうか。

(総合政策部長)

蓮田市の宣伝というところでははすぴいお散歩隊というのがございまして、はすぴいを連れて行って、蓮田市の宣伝をしたというところがございます。

はすぴいというのは蓮田市よりもある意味知名度の高い存在なので、はすぴいが蓮田市のキャラクターであるということをおわかっていただけるように宣伝するというところが、主眼でございます。

(野田委員)

実は、私も子育て支援の場所でエプロンをするのですが、エプロンの名札のところに、はすぴいの絵が描いてあり、それを見ると子供が指を差すんです。

でも引っ越してきた親御さんはここ2～3年だから、はすぴいは知らないんですね。イベントがことごとく中止になっていて、はすぴいをみたことない。だから一生懸命PRしていますが、実際には地域のイベ

ントの場以外でもきっと活躍されているのだと思いますが、一生懸命はすぴいを応援していることをわかっていただければ嬉しいです。

はすぴいは、フォームが可愛いと、お子さんにも好かれております。

(渋谷委員)

先日の大雨時など、災害の時に、どこに避難したら良いかという情報がネットですぐにはわからなかったのが、素早く確認できるようにした方が良いと思いました。

皆様が調べる時には、やはり「蓮田市」で調べるため、蓮田市が情報の発信をしっかりとしていないと難しい、または、市長が伝える手段を持っていけば信用性があるため、皆様、そこから情報を得ることができる、それが一番良いと、他の都市を見て思いました。

(総合政策部長)

先日も蓮田市内予想してなかった大雨が降りまして、蓮田の道路の一部が冠水をして、車が2台水没して動けなくなったという状況がございました。台風ですとか、あらかじめ大雨が降ると予測できるときには、こちら体制を組むのですが、今回に関してはそこまでの大雨の予報があまりなかったのが、大雨の警報が出てから職員が参集して、消防本部と協力をしまして、道路交通の規制ですとかそういった対応させていただいたところでございます。

実際に雨が降った時の避難所というのは、市民の皆様になかなか周知はしているのですが、まだ実になっていない所がありまして、近くの小学校・中学校は避難場所になってございます。実際に台風等であらかじめわかるときには、避難所を開設するか否かも検討した上で、必要に応じて避難所を開設するそういったこともしております。

そのお知らせに関しては、防災無線っていうのが一つの手段としてありますけれども、大雨が降っていたら当然聞き取れないこともあります。なので、車両から音声で案内する。そのほかに、安心・安全メールというのはあらかじめ登録いただくと、防災無線と同じ情報が手元のメールに届く。それから、テレビ埼玉のデータ放送にかかっておりましてテレビ埼玉にチャンネルを合わせていただくと、データ放送というボタンを押すと蓮田市の情報が出てくるようになっておりまして、そこでも同じ情報を流しております。

そういうところに情報があるというところを広報やホームページでお知らせはしているのですが、なかなかいざという時にそれを思いつく方が少ないので、こちらより一層ですね、情報、皆様が何かあった時には、ここ見れば良いというのがわかるように周知に努めたいと考えております。

(渋谷委員)

年齢的に今の高校生とか20代とかは得意なのですが、40、50、60代とかになってくると、情報の入手が苦手だと思うので、そういうところを強化したら良いと思います。

(総合政策部長)

ご指摘の通りですね、年を取れば取るほど、逆に言うと手段、色々なマスメディアと接することも減りますので、そういった方に情報が伝わるようにこちらでも色々方法等、考えて伝えられるようにしていきたいと考えます。

(議長)

ハザードマップ見ると、蓮田市は、水没エリアには高齢者が多く住んでいらっしゃると思いますよね。

ぜひそこら辺安心・安全をお願いしたいと思います。

(荒木委員)

蓮田市市民意識調査報告書の20～21ページの蓮田市に住み続けたいと思う理由は何ですかという設問の回答の上位3つが、「家や土地があるから」、「生まれ育ったところだから」、「親類・友人がいるから」こういった理由があると、逆に転居したい理由は何ですかという設問の回答の上位3つが「将来性・発展性がないから」、「日常生活に不便だから」、「交通の便が良くない」となっており、これらを比べると、ずっと住み続けたいと思っている方は、やむを得ず住むというか保守的な理由が上位を占めています。

一方で、転居したい方は、このような理由で、というのを目の当たりにすると、やはり、第5次総合振興計画の基本政策1「未来の希望が輝くまちをつくる」の重要性が改めてわかったという感想でございます。

(議長)

このあたり、やはり不便だからこそ、要望のところも生活・都市のところが要望が高くなっておりましたので、ここら辺を今後の見直しで生活を便利にする方向ですかね、安心・安全とかはだいぶ達成されているようですので、そちらの便利さというところが今後のお金を投入していくような方向・分野なのかなっていうところがこれでよくわかるようになっておりますね。

(田口委員)

私自身は蓮田市の出身で、子どもの頃、蓮田市で育ち、途中で進学や就職で県外に出まして、子育ても途中まで他都府県でしており、また、

途中から戻ってきたという経歴を持っています。だからこそ、子供の頃は蓮田市を田舎だと思っておりましたが、子育てで戻ってくると、実はとても魅力的で、自然豊かで人があたたかく、そんなに困らないんです。

確かに、病院や大きな商業施設は市内にはありませんが、近くにありまますし、都市部にも簡単にいられますし、過ごしやすい一方で自然がとても多く、道路もそんなに混雑もしていないため車で走りやすく、発見されていない魅力がいっぱいあるんだなというのをとても感じております。

特に自然は、子育てを始めて、学校のPTA活動で子供の安全指導と一緒に出掛けるようになると、黒浜沼の保全の皆から、まち探検等の地域の勉強でお話を伺うのですが、ただの沼だと思っていた黒浜沼に様々な貴重な動植物がいることだとか、そういった魅力をそこで初めて知りました。

ただ、言ってしまうと、PTAの活動に参加したら知ることができたことなので、多くの親御さんは知らない、でも子供たちは学んでいるというところで、すごく魅力がいっぱいあって、過ごしやすくて、私は戻って来て良かったと感じております。

子供たちも、東京にいたときはどうやって遊んでよいか、花をつむにも躊躇しておりましたが、蓮田市に戻ってきてからは、思いっきり遊んでおまして、虫や魚を捕まえる網をもって走りまわるようなことができて、また、地域の方が見守ってくれるため、子供たちだけで遊びに行かせることができしております。

都市部では、事故や知らないひとに連れていかれてしまうことが怖くて、子供たちだけで遊びに行かせることはできないのですが、先ほど、警察のお話の際にありましたように、蓮田市は、本当に安全で、地域の方が把握して見守ってくれております。

そのことが、これほどありがたいことだという体験をしたので、たぶん知られていない魅力がいっぱいあって、当たり前になってしまっており、離れたらわかるとか、そういうこともあるのではないかと思います。

自然も多く、何も自然での遊びとかそういうのもあればすごく楽しいのではないかと思います。他都市から来た親御さんは知らないから遊ばせられないけれど、普通に整備された公園で遊ぶよりも魅力的な遊びや発見が自然の中にはいっぱいあるのではないかなと思うと、知られていないことが、ちょっともったいないと思います。

(議長)

確かに、魅力的な地域資源は結構いっぱいあるのに、知られてないというのは本当にあると思いますので、そのあたりを、市民の方にPRしていくってところがまずは大切というところですかね。

(関根委員)

この計画の見直しについてということなので、市民意識調査は非常に参考になるものだというのが、第一の感想でした。

この意向を汲んでいただくというのは、見直しにあたっては大前提だとは思いますが、この第5次総合振興計画は中野前市長の思いが詰まった物だと思うのですが、今回市長が変わられて、山口市長になられたということで、山口市長の思いを、ここにもぜひ詰め込んでいただきたいなって思いがあります。

その中で、例えば、公共交通の利便性の所だったりとか、その辺何か盛り込む予定だったりとか、もしあれば、教えていただきたいです。

(山口市長)

今のところ、まず、これはすでに議決されたものなので、見直しはできても、議決されたものを私がまた一から変えるということは、まずは行政としては難しいということをご理解ください。

その中で、私の思いがほとんど詰まっているので、ある意味施策の所、具体的な事業の中で、たぶん私らしさがある内、出てくるのだと思います。今のところはまず、この計画は全部包括していると思っておりますので、そこを大切に受け継いでいきたいなと思っております。具体的な事業を進めていくことで、振り返った際に、私らしさが出てくるのではないかと思っております。

(議長)

交通の所がやはり、基盤としては重要ですので、そこら辺で新市長色が出てくるのではないのでしょうか。

(奥沢副会長)

蓮田市市民意識調査報告書の6ページの間24「蓮田市のまちの魅力」には、蓮田市の魅力として、交通の利便性、豊かな緑が挙げられておりますが、非常に都心に近くこれだけ交通の便が良くて、なおかつ緑が残っているまちは、他には、本当に見られないと思います。

さらに、あまり話題にはなっておりませんが、歴史では、国指定の黒浜貝塚とか全国クラスの遺跡があるわけですね。それから伝統芸能も。だから、歴史もあるし、文化もある、こういうのが、浸透しきれていない面はあると思います。

ただ蓮田には、今言ったような地域資源があると、そういうのは全般的に言われているのですが、上手く発信する必要があると思いました。

もう一つ、関連があるのですが、23ページ「暮らしをとりまく身近な環境について」に行政施策の満足度がありますよね。

やはり、大体の施策については、大きな不満はなく満足している状態

で、特に上の方の基礎的なサービスである上下水道や保健サービスなどについては満足度が高くなっております。

満足度が低く、これから市民が要望し期待しているのは、「地元商店街の整備」、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」、「観光地や観光施設の整備」となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の関係で少し出てきたデータもあるとは思いますが、やはり市民がこれから期待しているのは、人の集まる、賑わいのある、市民が便利になるような施設となる場所を要望しているように、この満足度に関する設問から、私は感じました。

蓮田市は、交通の便がなかなかあまり良くないという意見がありますが、そのようなことはなく、蓮田市の特徴として、交通条件っていうのは、基本的によいと思うんですね。都心に近いし、駅の両側に立派な駅前広場がありますし、路線バス網も最近増えたこともあり、近在のまちにはない位、結構しっかりと整備されておりますし、そして高速道路のインターチェンジもありますし、市内には4車線の道路である国道122号が通っておりまして、その国道の中程には、先ほどもお話がありましたけれども、道の駅を整備しようという構想に位置付けられておりますよね。

立地条件をきちんと理解して、便利で賑わいのある、そういう地域を作ることが、たぶんこれは、市民の利便性につながる市民の要望ですし、地域の振興にもつながるし、それから蓮田市のイメージアップにもつながると思うので、色々難しいところもあり、順繰りにやっていかなければならない所もあると思いますが、ぜひ研究していただきたいと思っております。

要望ですので、ぜひよろしく願いいたします。

(議長)

この23ページの満足度が最も低くなっている3つについては、「道の駅しもつま」のような施設を一つ整備してしまえば、全て満足度の向上が期待できますね。

では、他にご質問等がなければ議題2についての審議は以上で終了いたします。

本日は、大変活発な意見交換をしていただき、ありがとうございました。委員の皆様からの意見等を踏まえ、執行部はしっかりと進行管理を行っていただき、第5次総合振興計画の着実な実施と5年目の見直し作業に、ご努力いただきますようお願いいたします。

これで、本日の議事は全て終了いたしました。会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。

3 その他

(調整幹)

中山会長、ありがとうございました。続きまして、次第の3「その他」に移ります。

事務局から2点のご連絡がございます。塚本政策調整課長より申し上げます。

(事務局)

1点目は会議録についてでございます。

「蓮田市附属機関等の会議の公開に関する要綱」により、会議録を作成しホームページに公開することとなりますが、作成後、委員の皆様にご確認をいただき、その後に公開ということになりますのでよろしくお願いいたします。

2点目は、次回会議の開催時期ですが、10月頃を予定しております。日程が決まりましたら、ご連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

(調整幹)

続きまして、次第の4「閉会」でございます。

奥沢副会長から閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。

奥沢副会長よろしくお願いいたします。

4 閉会

(調整幹)

閉会にあたりまして、奥沢副会長より、閉会の言葉、ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

(奥沢副会長)

熱心な御議論本当にありがとうございました。今後のスケジュールですが、先ほど事務局から説明がありましたけれども、10月頃計画原案が、審議されるということです。その前に市の方としては、総合振興計画策定委員会という市内部の会議があるわけですが、そのような会議で本日の資料の細かい分析等個別の担当課で十分していただきたいとそうように思っております。本日は、大変ありがとうございました。

(調整幹)

ありがとうございました。以上で令和4年度 第2回蓮田市総合振興計画審議会を全て終了いたします。